

**雷サージとは**  
雷サージとは、落雷などの雷現象で発生する有害な過電圧や過電流のことです。またサージは「衝撃波」という意味ですから、雷サージは「電気の津波」とも言えます。  
この雷サージが屋内に引き込まれている配電線を伝って電気製品などに侵入し、機器の弱い部分を破壊したり、火花を発生させ火災などの雷の被害を引き起こす原因となります。

**雷サージとは**

留守中の住宅において、上空の雷雲から発生した雷が、火災現場付近に落雷した際の主放電から分岐した放電が、その住宅の民家の屋根にあるテレビアンテナに落ち、雷電流が同軸ケーブルからテレビに流れ、テレビから出火した。

**火災事例2**

架空配線に落ちた雷の異常電圧が、屋内に引き込まれている配電線に進入し、さらに保温状態で通電されていた電気炊飯ジャーのコードに進入し、炊飯ジャーのヒーター部分に火花を発生させ、被覆のはがれた部分が赤熱状態となり、この熱が炊飯ジャーの下に敷かれていた布巾に伝導着火した。

**火災事例1**

架空配線に落ちた雷の異常電圧が、屋内に引き込まれている配電線に進入し、さらに保温状態で通電されていた電気炊飯ジャーのコードに進入し、炊飯ジャーのヒーター部分に火花を発生させ、被覆のはがれた部分が赤熱状態となり、この熱が炊飯ジャーの下に敷かれていた布巾に伝導着火した。

近年の屋外レジャーの活発化や、パソコンやデジタル放送対応テレビなど高価で精巧な製品の普及により、人や建物、電気製品への落雷被害は多種多様となってきました。  
落雷は自然の産物であり、雷の発生を防ぐことはできません。しかし、「雷に対する正しい知識」を持つことにより、被害を未然に防いだり軽減することは可能です。  
みなさんの大切な命や財産を守るため、レジャーなどで外出される場合は事前に天気予報を調べ、また建物や電気製品には必要な対策をとっておくなど、普段から注意するよう心掛けてください。

**落雷被害を減らすために**

家庭などで雷サージによる電気製品などの故障を防ぐために、雷が開こえたときは、電源ケーブルや電話線をコンセントから抜いておくことが望ましく、また被害を軽減するための、サージプロテクターというコンセント型の器具なども販売されています。



**雷サージ対策**  
家庭などで雷サージによる電気製品などの故障を防ぐために、雷が開こえたときは、電源ケーブルや電話線をコンセントから抜いておくことが望ましく、また被害を軽減するための、サージプロテクターというコンセント型の器具なども販売されています。

インフルエンザにかからないための方法のひとつが予防接種を受けることです。ワクチンの効き目が現れるまで二週間ほどかかります。冬を迎える前に予防接種を受けておけば効果的です。最近では、「エチケットマスク」という言葉も耳にするようになりましたが、予防のためだけにではなく、人にうつさないようにすることも大切です。  
二十世紀に何回も大流行しているインフルエンザは、過去に「スペイン風邪」といわれた大流行で、世界の人口の半数がかかり、二千万人以上が死亡した記録もあります。京丹後市や自分の住んでいる地区から流行させないためにも、みなさんでインフルエンザを予防しましょう。

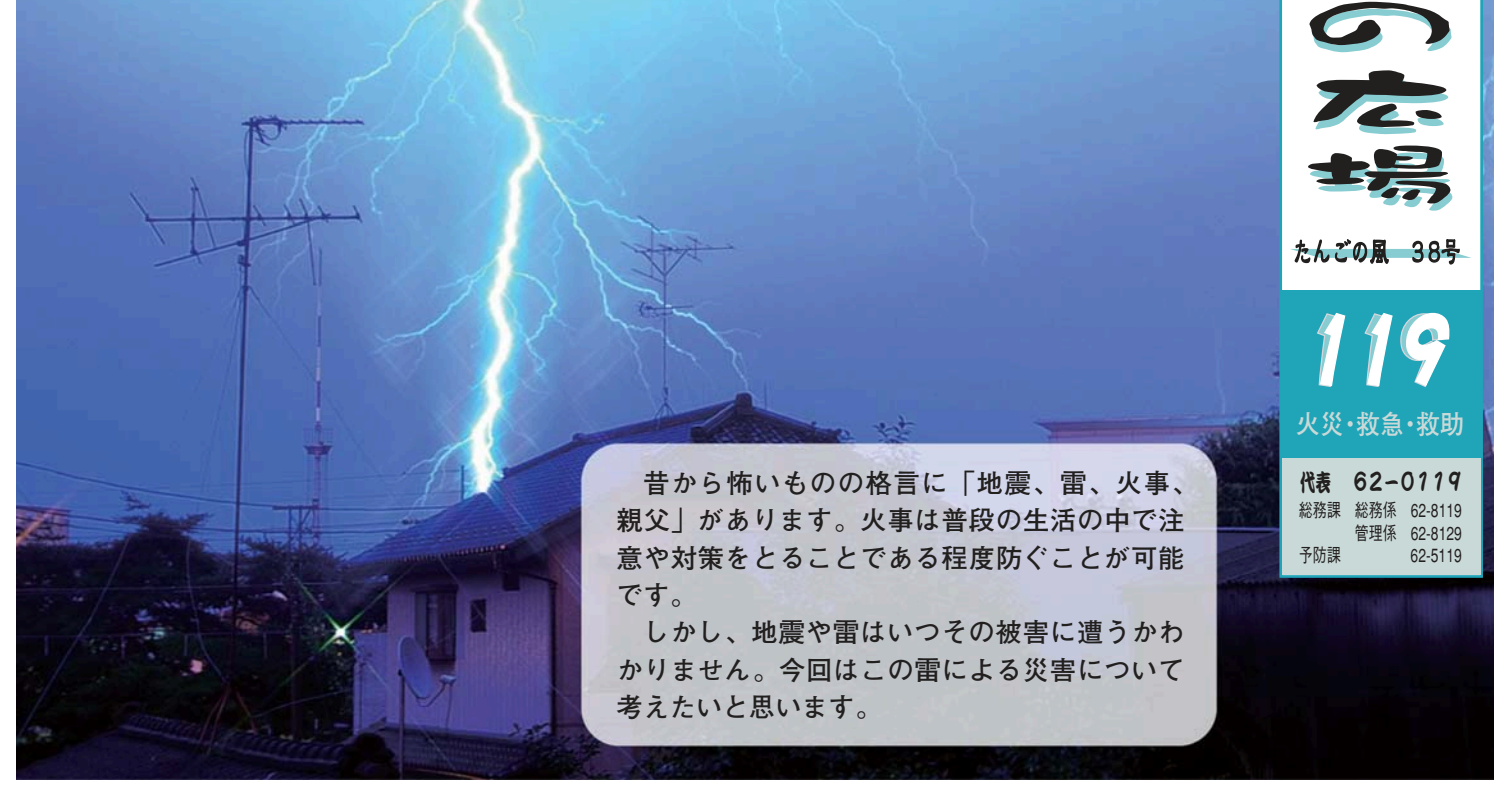
救急救命士  
藪下 茂幸

**冬を前にして**  
十一月に入り、冬はもう目の前です。日本ではインフルエンザの流行期間は十二月～三月です。みなさん予防はされていますか。  
風邪とインフルエンザは違う病気です。風邪は喉や鼻から調子が悪くなりますが、インフルエンザは急に三十八度から四〇度の高熱が出ます。気管支炎や肺炎などほかの病気も呼び込みやすい危険な病気です。お子さんや高齢者のかたなど抵抗力の低いかたは合併症を起こしやすいと言われています。



**冬を前にして**

**落雷** ~自然災害に備える~



昔から怖いものの格言に「地震、雷、火事、親父」があります。火事は普段の生活の中で注意や対策をとることである程度防ぐことが可能です。  
しかし、地震や雷はいつその被害に遭うかわかりません。今回はこの雷による災害について考えたいと思います。

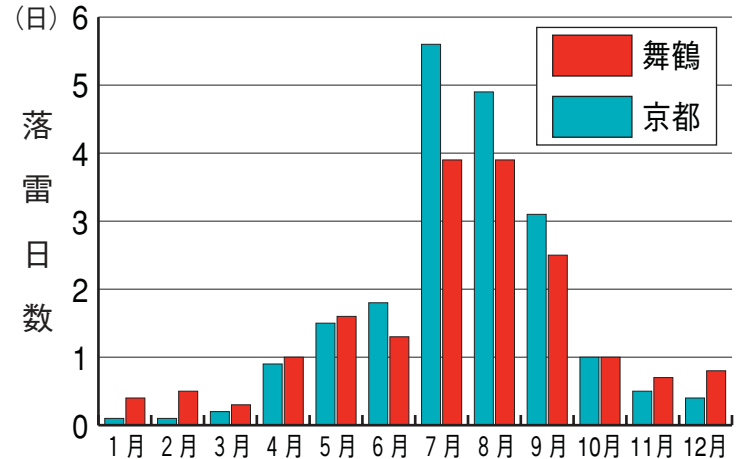
**消防の広場**  
たんごの風 38号  
**119**  
火災・救急・救助  
代表 62-0119  
総務課 総務係 62-8119  
管理係 62-8129  
予防課 62-5119

**冬の風物詩**  
雷は一般的には夏の気象現象ですが、日本海側では、冬の季節風にもなる降雪のときに多く発生します。この雷は「雪おこし」といったり、寒ブリの獲れるころの雷という意味で「ブリおこし」とも呼ばれています。  
丹後では冬の風物詩ともいえる雷ですが、なぜ冬に雷が発生するのでしょうか。

**雷のメカニズム**

雷は発達した積乱雲から発生します。十二月～三月上旬ごろ、日本海側ではシベリアからの冷たい季節風が日本海を渡り日本列島へと向かいます。このとき日本海は、対馬暖流の北上により比較的暖かく、水蒸気の補給源となっており、雲は移動しながら上昇気流の影響を受けて、日本海側の沿岸に近づくころには積雲から積乱雲へと発達します。そして、日本海側の各地に降雪とともに落雷をもたらします。

京都と舞鶴の落雷日数(平年値)を比較した下図では、夏季は午後から夕方にかけて発生が多く、内陸部の京都、日本海側の舞鶴ともに一年のうちで最も多い時期となっています。一方、冬季は対馬暖流の影響で暖かい日本海と、シベリアからの冷たい季節風により発達した積乱雲のため、日本海側で多く発生しています。



**ゴロゴロは危険信号**

落雷に遭わないためには、まず天気予報などで雷の発生しやすい気象状況を知ることです。「大気の状態が不安定」と聞いた日は、特に注意が必要です。雷の研究者によると、一番危険な空間は屋外で、山頂や屋上などの高い所や、運動場などの広い所からは早めに離れることと、一般的には、建物内や自動車の中など電気を通すものに囲まれた空間にいれば安全なので、ゴロゴロと雷鳴が聞こえたら、直ちに安全な場所へ避難すべきとされています。